

夏季集中 国内セミナー 報告書

2024年度大学等の「復興知」を活用した
人材育成基盤構築事業(重点的取組)



9月 夏季集中国内セミナー

福島県浜通り地区にて「夏季集中国内セミナー」を開催いたしました。

長崎大学は、福島イノベーション・コースト構想促進事業「復興知」事業の令和3年度採択事業（実施期間令和3年度から令和7年度の5年間）である「災害・被ばく医療科学分野の人材育成による知の交流拠点構築事業」の一環として、9月8～12日に「浜通り(2大学)実習」を9月8日～11日に「地域から学ぶ復興学セミナー」を現地開催、9月8～11日に「東日本国際大学集中講義」を現地及びオンライン開催をいたしました。それに加え9月9日～9月10日に「災害・被ばく医療科学サマーセミナー」をオンライン開催いたしました。

本セミナーは学校法人昌平齋東日本国際大学と連携して行われ、東日本国際大学をはじめ、いわき短期大学や長崎大学、災害・被ばく医療科学や復興学に関心をもつ学生や医療従事者等が参加しました。

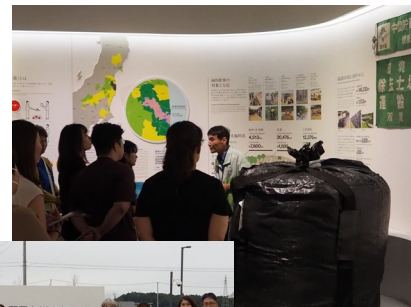
長崎大学の教員から放射線の基礎知識や健康についての講義が行われた他、東日本大震災・原子力災害伝承館や震災遺構浪江町立請戸小学校、東京電力廃炉資料館、中間貯蔵施設の見学、川内村遠藤雄幸村長によるビデオレターやかわうちラボ井出寿一理事による講義、経済産業省木野正登参事官によるALPS処理水についての講義、住民の方々との意見交換、グループワーク等が行われました。

今後も各大学等と連携し、災害・被ばく医療科学分野における専門家の育成に向けた取組を行っていきます。

●総参加者数（スタッフ及び登壇者を含む）

	9/8(日)	9/9(月)	9/10(火)	9/11(水)	9/12(木)
参加者数	39名	92名	103名	85名	15名

- 9/8(日)～9/12(木) 浜通り(2大学)実習【現地開催】
対象者：災害・被ばく医療科学に関心のある医療従事者
- 9/8(日)～9/11(水) 地域から学ぶ復興学セミナー【現地開催】
対象者：災害・被ばく医療科学及び復興学に興味のある学生等
- 9/9(月)～9/11(水) 東日本国際大学集中講義【現地及びオンライン開催】
対象者：東日本国際大学学生、いわき短期大学学生
- 9/9(月)～9/10(火) 災害・被ばく医療科学サマーセミナー【オンライン開催】
対象者：災害・被ばく医療科学に関心のある学生や教員等



2024年9月8日～12日夏季集中国内セミナー

2024年度 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業（重点的取組）

日付		時間	所要	場所	所属	講師名	タイトル及び各セミナー対応一覧				
							2大学実習	地域から学ぶ復興学セミナー	東日本国際大学 集中講義(ハイブリッド)	いわき短期大学 集中講義	災害被ばく医療科学 サマーセミナー(オンライン)
9月8日(日)	午後	15:30～16:30	60分	東日本大震災・原子力災害伝承館	東日本大震災・ 原子力災害伝承館	高村 教授	東日本大震災・原子力災害伝承館見学				
9月9日(月)	午前	9:20～10:00	40分	請戸小学校震災遺構	長崎大学	高村 教授	請戸小学校震災遺構見学				
		9:30～10:10	40分				請戸小学校震災遺構見学				
		10:30～11:30	60分	双葉町産業交流センター			開会のあいさつ				
		11:40～12:05	25分				被ばくと健康、クライシス・リスクコミュニケーション【課題提示】				
	昼食	12:05～12:45	40分	双葉町産業交流センター・伝承館前にて昼食（お弁当）		—	放射線量率とその意味を知るための講義・演習（環境放射能）				
	午後	12:45～14:00	75分				フィールドワーク				
		12:45～13:50	65分	東日本大震災・原子力災害伝承館	東日本大震災・ 原子力災害伝承館	高村 教授 フィールドワーク講師	東日本大震災・原子力災害伝承館見学				
		14:00～15:00	60分				フィールドワーク				
		14:45～15:45	60分	東京電力廃炉資料館	東京電力廃炉資料館	東京電力職員（各2人）	東京電力廃炉資料館見学				
		15:30～16:30	60分				東京電力廃炉資料館見学				
		19:00～21:00	120分	Linkる大熊	東日本国際大学・ いわき短期大学	福井 教授	防災紙芝居づくり				
9月10日(火)	午前	9:00～9:05	5分	いわなの郷	川内村	遠藤村長	これからの福島を担う若者に学んで欲しいこと				
		9:05～9:50	45分		川内村の原子力災害からの復興	井出 寿一理事	川内村の原子力災害からの復興				
		10:00～10:50	50分		経済産業省資源エネルギー庁	木野 参事官	福島第一原子力発電所の廃炉・処理水について				
		11:00～12:00	60分		川内村住民	川内村住民	住民の方々との意見交換会 （被災体験・その後の生活）第1部				
	昼食	12:00～12:40	40分		—	—	昼食				
	午後	12:40～14:00	80分		川内村住民	川内村住民	住民の方々との意見交換会 （被災体験・その後の生活）第2部				
		14:10～15:40	90分		農業・食品産業技術総合研究機構	万福 先生	除去土壌についての理解【ワークショップ】				
		15:00～16:00	60分	富岡中学校	長崎大学	高村 先生	富岡中学校授業				
		16:00～16:30	30分	かわうち保育園	かわうち保育園	大須賀 園長	かわうち保育園（いわ短）				
		19:00～21:00	120分	学びの森（富岡町）	東日本国際大学・ いわき短期大学	福井 教授	防災紙芝居づくり				
9月11日(水)	午前	9:00～10:40	100分	Linkる大熊	長崎大学	高村 教授	【課題】グループディスカッション・グループ発表・まとめ				
		10:50～11:50	60分	大熊町探訪	インキュベーションセン ター	OIC職員・柏崎助教	大野駅周辺・インキュベーションセンター				
		11:00～11:40	40分	学びやゆめの森 こども園	いわき短期大学	こども園教員 いわ短の先生	こども園での活動 手遊び・紙芝居 いわ短先輩のお話 ・ディスカッション				
		11:40～12:00	20分				昼食				
		12:00～12:30	30分	学びやゆめの森	東日本国際大学	小中学園教員 東国・いわ短の先生	小中学園チーム一昼食				
		12:00～12:30	30分				小中学園での活動 紙芝居・絵本贈呈				
		12:45～13:10	25分	学びやゆめの森 小中学園	東日本国際大学・ いわき短期大学		小中学園児童との活動				
		13:20～13:45	25分								
	昼食	12:00～12:30	30分	Linkる大熊	—	—	昼食				
	午後	13:00～15:30	150分	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設情報センター	情報センター職員	中間貯蔵施設見学				
		16:00～17:00	60分	道の駅なみえ	長崎大学	各団体教員	2大学実習まとめ 地域から学ぶ復興学セミナー まとめ				
		17:00～17:30	30分	道の駅なみえ	道の駅なみえ	—	（道の駅なみえ）				
9月12日(木)	午前	9:30～11:30	120分	川内村ドローンパーク	川内村ドローンパーク	神藤 代表	ドローンフィールド 研修				

2024年度

長崎大学

災害・被ばく医療科学
サマーセミナー

本セミナーでは東京電力福島第一原子力発電所事故の経験や教訓をもとに、放射線被ばく健康影響やリスクコミュニケーション、原子力災害からの復興や廃炉・処理水などについて学びます。

開催日時

9/9月10火

開催方法

オンライン(Webex)

対象

原子力災害や被ばく医療に興味、
関心のある学生や教員など

参加費

無料

申込方法

申込は下記URL又はQRコードのWeb
申込フォームよりお申し込みください。
申込締切: 8月5日(月)17時まで

申込フォーム

https://forms.office.com/r/
02aZQ0Ec1C?origin=prLink

4つのコンテンツに自由に参加できます

9/9日

福島第一原子力発電所事故の
概要と健康影響・環境・食品中
の放射能評価

9/10火

川内村の原子力災害からの復興と
処理水についての理解醸成

1

10:30
↓
11:30

被ばくと健康、クライシス・
リスクコミュニケーション
講師:長崎大学教授 高村 昇

2

11:40
↓
12:05

放射線量率とその意味を知る
ための講義・演習(環境放射能)
講師:長崎大学助教 柏崎 佑哉・肖 旭

3

9:00
↓
9:05
↓
9:50

これからの福島を担う若者に学んで欲しいこと
ビデオメッセージ/川内村村長 遠藤 雄幸

4

10:00
↓
10:50

川内村の原子力災害からの復興
講師:かわうち保育園 井出 寿一

福島第一原子力発電所の廃炉・処理水について
講師:経済産業省資源エネルギー庁参事官 木野 正登

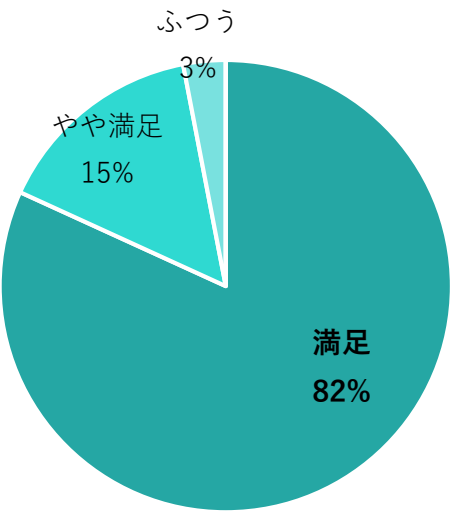
主催

長崎大学 福島未来創造支援研究センター

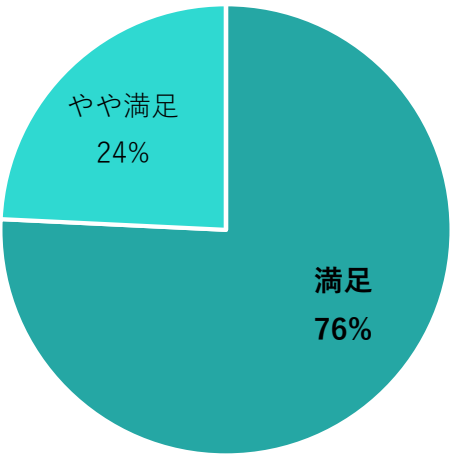
〒852-8523 長崎市坂本1-12-4 [TEL]095-819-7098 [Email]rscff_nu@ml.nagasaki-u.ac.jp

アンケート結果

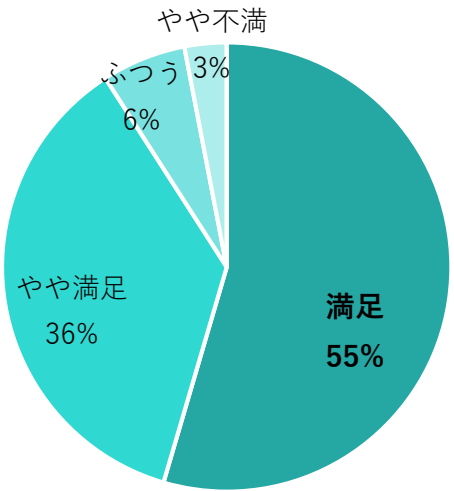
受講の満足度



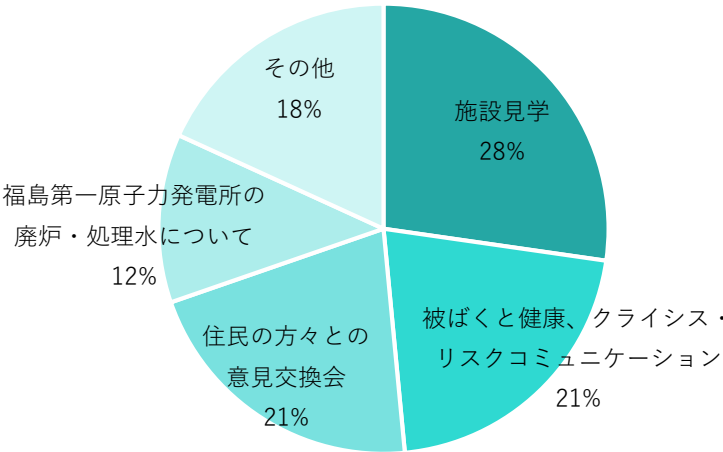
プログラムの内容



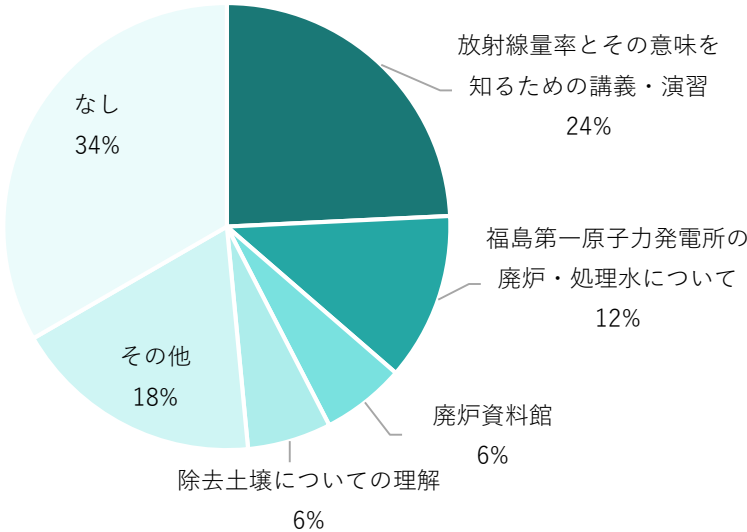
セミナーの進行



最も勉強になったプログラム



内容が難しいと感じたプログラム



受講者の声

受講してよかったこと・感じたこと

- 全く知識がなかった放射線についての知識を得られ、疑問点を専門家の方々に聞き解消できたので良かったと思う。また、住民との意見交換では、実際に避難された方にお話を聞くことができ、とても貴重な機会を得ることができたと感じた。
- 廃炉や中間貯蔵施設の事・復興の事など福島県に住んでいながら知らなかったことが多くあった。震災後初めて相双地区に行ったが想像以上に復興している部分と、復興していない部分があると思った。毎日テレビや新聞で報道されていることを見聞きしていたが、自分の足で歩き、自分の目で見ることが大切だと思った。
- これまでは放射線について「怖いもの」という漠然とした認識しかなかったが、今回のセミナーに参加して他地域・他国とも差がないことを学び、安全であることを認識することができてよかった。被ばくとの関連は本当にあるのか、ある場合にはどのような結果が得られているのか、ひとつの視点からではなく視野を広く持ち、様々な視点から考えることが重要であると感じた。
- 原子力災害にかかる復興について、処理水や除去土壌、廃炉作業の現状などを事細かく理解できる内容になっており、とても充実したプログラムだったと思う。特に中間処理施設への視察では、現地の様子を見ながらこれまでの除去土壌の過程を聞くことができ、ホームページなどの二次的な情報を見ることに比べ、しっかりと理解することができた。

その他、ご意見・ご要望

- 参加者で交流できる機会(挨拶など)があるといいと思う。
- もう少しホテルに帰る時間が遅くなってもいいので、セミナー中の施設見学や講義の時間などをもう少し増やしてほしいと思った。
- 今回のように、長崎大学で行っている情報発信のセミナー情報があったら教えてほしい。